



医薬

# HIGO program



# 健康生命科学の 次世代リーダーを目指して



HIGO から世界へ

## 入学から 修了までの流れ

従来の大学院と同様に学位論文研究を行い、高い専門性や研究力を身につけながら、世界各国の政策・文化・宗教・倫理などを学ぶ「社会文化科学」、企業・行政セミナー、インターンシップなど、独自のカリキュラムがあります。

|                        | 基礎コース (修士) |     | 専門コース (博士) |     |     |     |
|------------------------|------------|-----|------------|-----|-----|-----|
|                        | 1年次        | 2年次 | 1年次        | 2年次 | 3年次 | 4年次 |
| 学位論文研究                 |            |     |            |     |     |     |
| 医学・薬学の講義、実習            |            |     |            |     |     |     |
| 従来の“博士”教育              |            |     |            |     |     |     |
| + $\alpha$ HIGOの“博士”教育 |            |     |            |     |     |     |
| 最先端研究セミナー              |            |     |            |     |     |     |
| 社会文化科学の講義・演習           |            |     |            |     |     |     |
| 企業・行政・海外インターンシップ       |            |     |            |     |     |     |
| 企業・行政セミナー              |            |     |            |     |     |     |
| 語学、リーダーシップ研修           |            |     |            |     |     |     |



国際的に活躍する  
教育研究リーダー

アジアに展開する企業で  
活躍するリーダー

保健衛生・医療行政で  
活躍するリーダー

## HIGO プログラムに入学したくなる 5つのポイント



### 1 健康生命科学の専門性

- 従来の大学院と同様に学位論文研究を行い研究力が身につく



### 2 最先端の研究実績

- 10年間のCOE実績を持つ発生再生医学研究
- 学内研究拠点に採択された医学・創薬研究
- 海外研究機関との連携



### 3 学際性

- 医学教育部と薬学教育部がともに学び学部や研究室を超えた指導を受けられる
- 文理融合からイノベーションを創出できる



### 4 充実した学生支援

- プログラム生の学業や研究活動に対する経済支援



奨励金



大学院生独創的教育研究活動経費



研究等旅費  
インターンシップ  
旅費



論文投稿・特許  
出願などの費用



国内外の学会発表  
の旅費・参加費



### 5 研究力 + $\alpha$

- 社会で即戦力として、諸課題を解決できるリーダーになるための素養が身につく



国際性



企画立案・  
実践・行動力



コミュニケーション力



リーダーシップ

# HIGOプログラム生の 研究成果

プログラム生の研究活動をサポートするための  
研究費や学会参加費・旅費などを、希望者に対して選考の上、支給しています。

※学年は実施当時

優秀発表賞  
受賞

## 第33回日本薬学会九州支部大会 (2016.12.3- 12.4 鹿児島)

受賞演題

微弱パルス電流及び温熱の同時印加は  
imiquimod 誘導性乾癬モデルにおける表皮の肥厚化を抑制する



連川 雄

Yu Tsurekawa

基礎コース 薬学教育部  
遺伝子機能応用学分野  
博士前期課程2年

かんせん  
乾癬は、難治性の皮膚疾患であり、有効かつ  
長期にわたって安全に使用できる治療法が  
求められています。私たちは、薬物によら  
ない乾癬の新たな治療法の開発を目指し、  
生体への物理刺激の有効性に着目しまし  
た。特定の低周波微弱パルス電流と温熱  
刺激の併用 (MES+HS) が乾癬モデルマウス  
の病態を改善することを見出しました。この  
研究成果は、MES+HS が乾癬の有効な治療法  
となる可能性を示しています。



優秀演題賞  
受賞

## 第23回日本血液代替物学会年次大会 (2016.11.24- 11.25 東京)

受賞演題

Therapeutic impact of vitamin D receptor activator  
and all-trans retinoic acid on renal fibrosis model



Bi Jing

ビー ジュン

専門コース 薬学教育部  
薬剤学分野  
博士後期課程1年

慢性腎臓病は、長期にわたり徐々に腎機  
能が低下していく国民病であり、進行する  
と、腎臓の線維化が起こり、末期腎不全に  
至ります。一度失われた腎機能の回復は見  
込めず、透析療法や腎移植が必要となるため、新  
たな治療法が求められています。私たちは、ビタミンD  
受容体活性化剤及びビタミンA誘導体が、免疫調整効果や抗炎症作用な  
どを示すことに着目しました。腎線維化モデルマウスにおいて、ビタミンD  
及びビタミンAが腎障害を抑制し、その効果に1,25(OH)<sub>2</sub>D-VDR/RXR  
及びatRA-RAR/RXR経路が関与している可能性を明らかにしました。



# 社会文化科学に関する成果発表

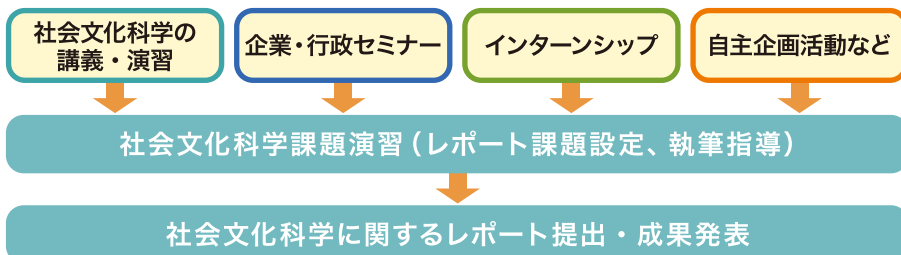
2016.11.28, 11.30

修士論文および博士論文の提出に先立ち、社会文化科学に関する成果をまとめたレポートの作成と成果発表を行いました。



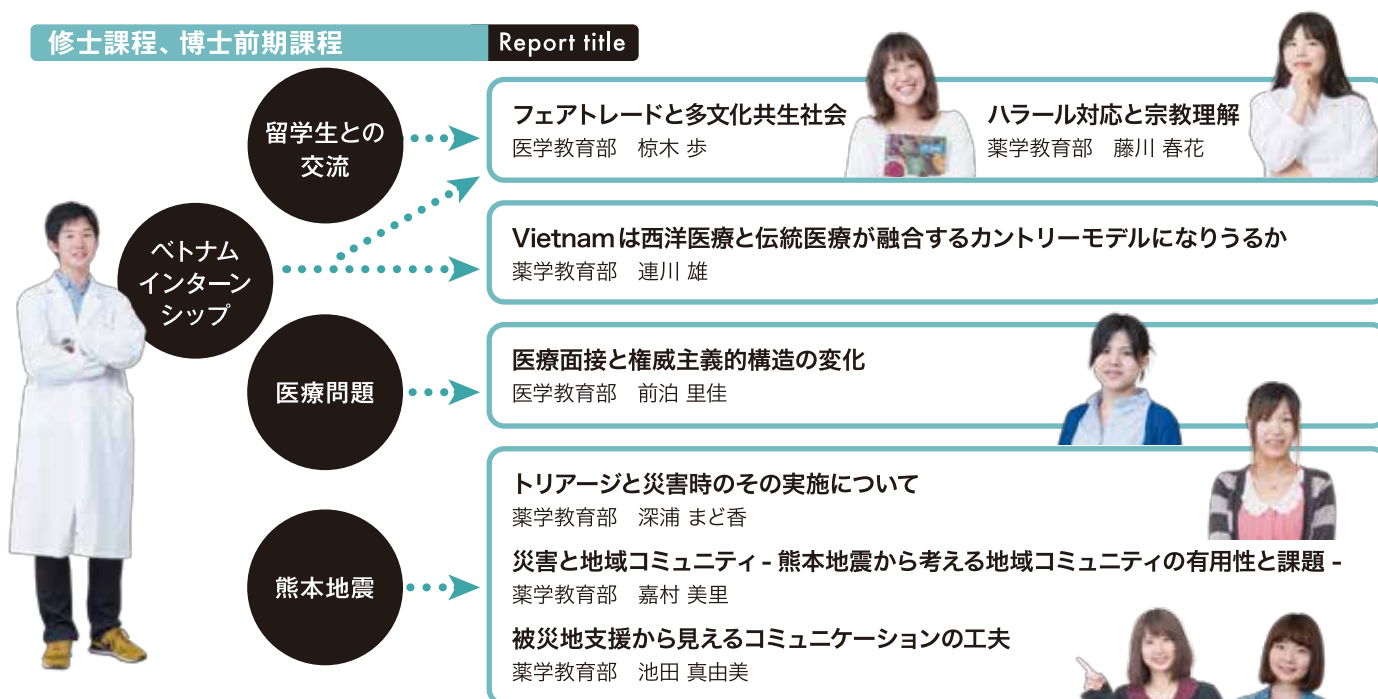
## 【レポート成果発表までの流れ】

レポートの課題は、HIGOプログラムにおけるカリキュラムや活動を通じて学んだ成果をふまえて設定します。各学生の課題設定のきっかけと、レポート課題名は以下の通りです。



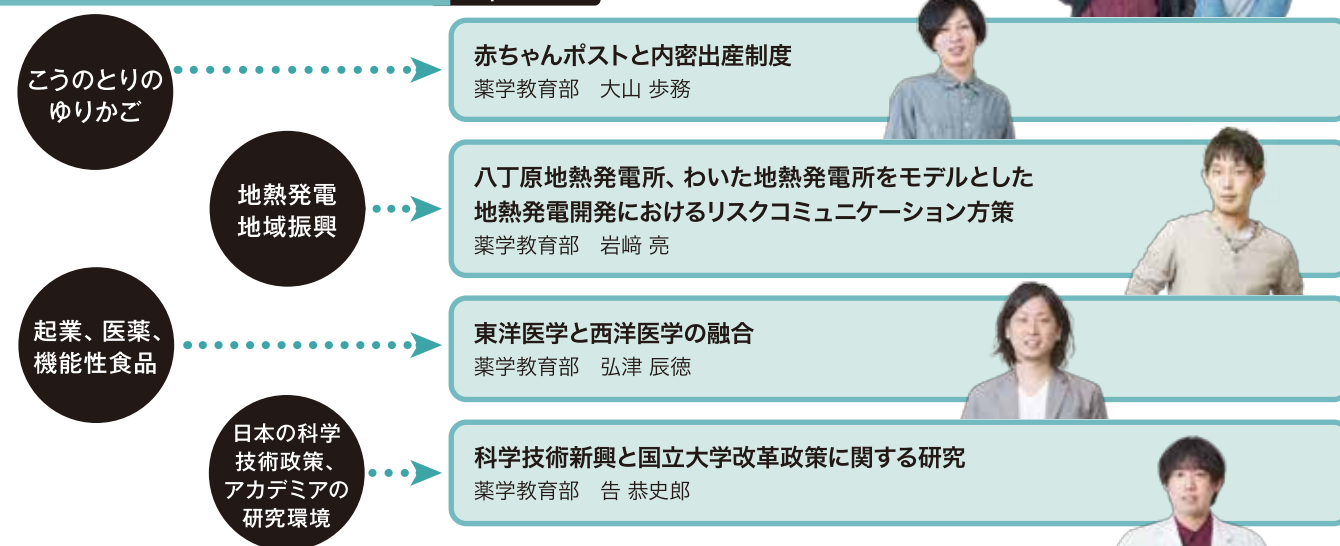
## 修士課程、博士前期課程

### Report title



## 博士課程、博士後期課程

### Report title







## 行政インターンシップ Government Internship



### 上天草インターンシップ

今年で4年目に突入した上天草市での行政インターンシップでは、これまでの3年間の活動を通して見てきた課題である「住民の健康意識向上」や「地域産業の活性化」、「医療従事者の確保」への具体的な解決を目指して、様々な活動に取り組みました。また、4月の熊本地震、6月の大雨被害を受けて、上天草市が行った災害対応や災害派遣医療チーム (DMAT) の活動内容についても学びました。

### フィールドワーク

2016.10.16 - 10.19 【学生14名、教員4名】

#### ① 農家での民泊・農業従事者の健康意識調査



宮地岳宮農組合で過疎地域活性化への取込みを学んだ。バン格拉デシュカレーを婦人会の皆さんと一緒に作り、農家に民泊。農業従事者の健康意識を調査。

#### ② 将来の医療従事者の確保



市役所や医療施設、介護施設を訪問時に小学生を対象とした医療職の職業紹介動画を作成。

#### ③ 外国人観光客誘致に向けたPR動画づくり

留学生が観光スポットを巡り、外国人から見た上天草の魅力を集めた動画を作成。

九州オルレ次郎丸嶽トレッキングに挑戦！



#### ④ 災害対応：上天草市・DMAT

熊本地震で活動した上天草総合病院の城野英俊先生 (DMAT) や介護施設長の深谷誠了氏 (社会福祉士)、市の防災管理専門員である松岡正樹氏から災害対応について学んだ。



### 上天草けーな健康フェア

2016.11.23

薬に関する実験や医療職の職業紹介動画を視聴する熊大ブースを出展。また、天草郡市薬剤師会の先生方と一緒に薬剤師体験ブースも出展した。親子連れで楽しんでもらい、地元の小学生たちが将来の上天草市の医療・福祉の担い手となるきっかけになることを目指した。



### 上天草総合病院院内学会

2017.2.18

HIGOプログラム生が上天草総合病院の院内学会にて今年度のインターンシップ活動報告を行った。院長の坂本興美先生から来年度も一緒に、一歩ずつ進めていこうとの講評をいただいた。また、上天草看護専門学校の学生から活動への協力の申し出があり、来年度のインターンシップの活動に向けて地元の学生のアイデアを取り入れていきたい。





# 海外インターンシップ

Overseas Internship

## フィリピン

2017.1.19 - 1.27 【学生2名、教員2名】

西ヴィザヤ地方イロイロで研修を実施し、現地の医療・教育・貧困問題などを学びました。さらに、世界保健機関 (WHO) 西太平洋事務局 (WPRO) やアジア開発銀行 (ADB) を訪れ、アジア地域のニーズや課題と問題解決について学び、国際貢献に必要な素養を身につけました。



### Iloilo

#### イロイロ市

##### ■ 小学校訪問

国の政策として、栄養失調の児童に給食を提供する Feeding Program が実施されている。

##### ■ ゴミ山訪問

フィリピンでは、大気汚染を防ぐため、ゴミの焼却が禁じられており、ゴミは指定区域のゴミ山に集積されているが、環境汚染などの様々な問題も生じている。そこで政府は、衛生埋立地などのゴミ処理用施設を設置した。

##### ■ ホームステイ、住民への生活・健康などに関する実態調査

##### ■ グループディスカッション・発表

インターンシップ実施前から、事前勉強会で問題点を想定し、解決策について話し合ってきた。実際に現地を訪れ、現状を見た上で、ボランティアと議論。より具体的で実現可能な解決策を提言できた。



#### 高畑智宏さんの意見

##### 問題点

- ゴミ山の規模は縮小したが、ゴミ処理施設が十分に機能していない
- 住民の食生活は改善されつつあるが、生活習慣病も出始めている。医療に関する知識が少なく、誤った薬を服用することもある

##### 解決策

- 私たちにできること
  - ・ 住民向けのセミナー、スタディツアーの実施
- 地元住民にできること
  - ・ ゴミ処理設備などの管理
  - ・ インターネットによる情報発信
  - ・ 保健室や教材の補充 (企業との連携)
- 政府にできること
  - ・ 高度な焼却システムの輸入
  - ・ ゴミ焼却に関する法律の改正



#### Piruzyan Mariamさんの意見

##### 問題点

- ゴミ山周辺の住民の生活の質 (QOL) の低下

##### 解決策

- ゴミ山をなくす
  - ⇒ 環境汚染や感染症が減少
- 政府が生活費や学費の貸付、教育支援や職業訓練を行う
  - ⇒ 住民は、ゴミ山の跡地で花を栽培・販売
  - ⇒ 職・収入の安定
  - ⇒ 生活費・学費の返済

QOLの向上、貧困の減少、ビジネスの活性化

国全体の発展

### 国際機関

#### WHO 西太平洋事務局 (WPRO)

感染症対策などの取組みについて学び、WHO が求める人材について人事担当者と議論した。アジア諸国から専門家やリーダーが集まる「メンタルヘルス推進国際会議」に参加した。



#### アジア開発銀行 (ADB)

東南アジア諸国への出資、病院インフラ整備や感染症予防策などの取組みを学んだ。





公衆衛生の問題には、医療・健康問題だけでなく、経済情勢や社会問題なども関係している。問題解決には、それらを複合的に考察する必要がある。

## 米国ワシントンDC

2016.11.26 - 12.3 【学生2名、教員2名】

異なる立場から、途上国地域や紛争地域などにおける問題解決に取り組む5つの機関を訪問。それぞれの取り組みや考え方を学ぶことで、「ワシントンDC」というアジアの外からアジアを見つめ、「Think globally, act locally」の視点を養いました。



### ジョージワシントン大学

米国の公衆衛生教育、研究環境、東アジアの情勢などについての講義、意見交換

### JICA アメリカ事務所

保健領域におけるJICAの取り組み、国際機関とのパートナーシップなどに関する講義、意見交換

### 国際機関

#### 世界銀行

- 子供の低栄養（南アジア）、エボラ出血熱（西アフリカ）への対応に関する講義
- 中国におけるたばこへの課税についての講演会、演者との意見交換

#### Pan American Health Organization (PAHO)

PAHOの沿革、事業概要、国連が掲げる「ミレニアム開発目標」「持続可能な開発目標」などに関する講義、意見交換

#### グラミン財団

財団の沿革・理念、貧しい地域の人々への低金利・無担保融資などの活動についての講義、意見交換



## 公募型インターンシップ

Ready-made Internship

プログラム生が企業・行政機関・大学などで公募している事業に採択された場合、書類選考の上、**インターンシップの旅費・参加費などを支給**しています。

### コペンハーゲン大学サイエンス コミュニケーションサマースクール

2016.7.30 - 8.15

【専門コース 薬学教育部 博士後期課程2年 Dulla Yevgeny Aster】

※学年は実施当時



### US-JAPAN フォーラム主催 国内大学連携グローバルプロ養成プログラム

2016.8.26 - 9.26 【基礎コース 医学教育部 修士課程1年 黒瀬 絵理香】

### 株式会社日立製作所インフラソリューションフィールドの 短期研修型インターンシップ

2017.2.13 - 2.17 【基礎コース 医学教育部 修士課程2年 前泊 里佳】



# インターンシップ研究活動報告会

2017.2.10

## 【学生オーガナイザー】

- 4年コース 薬学教育部 博士課程2年 森内 将貴
- 4年コース 医学教育部 博士課程1年 Fatema Akter
- 4年コース 医学教育部 博士課程1年 Mohammad Badrul Anam
- 基礎コース 薬学教育部 博士前期課程1年 高畑 智宏



この報告会は、学外の方々や大学教職員、今後入学するかもしれない学生の皆さんに向け、HIGOプログラムをアピールし、メッセージを伝える会です。報告会の開催にあたり、運営について留学生と英語でディスカッションする必要がありました。僕の研究室には2人の留学生がおり、日頃から研究の話をすることはありますが、会の運営となると、必要な英語表現が異なり、英語で伝えることが難しく、大変勉強になりました。また、メールのやりとりについても、どうすれば英文で誤解を与えずに伝えられるかを学びました。当日は学生、教職員、インターンシップ受け入れ機関の方々など、120名以上の参加があり、研究だけではなくインターンシップで学んだ、行政・企業の問題や解決策について活発に議論できました。多くの方にHIGOプログラムを知っていただき、刺激を与えることができれば、ありがたいです。

## ポスター発表

### 【司会進行】

- 4年コース 医学教育部 博士課程2年 永松 翔
- 4年コース 医学教育部 博士課程1年 Mohammad Badrul Anam

## インターンシップ部門

新日本科学、同仁化学研究所、川澄化学工業、熊本日日新聞、上天草市、バングラデシュ、ウィーン、ネパール、ワシントンDC、フィリピン、ニューメキシコ大学、コペンハーゲン、シリコンバレー

### ベストポスター賞

- 1 **バングラデシュ**
- 2 **上天草**
- 3 **ウィーン**



## 研究部門

HIGOプログラムの独創的研究活動経費や研究成果発表支援を受けた12名

### ベストポスター賞

- 1 **基礎コース 医学教育部 修士課程2年 椋木 歩**  
過剰排卵誘起由来マウス凍結卵子を用いた遺伝子改変マウスの効率的な作成システムの開発
- 2 **4年コース 薬学教育部 博士課程2年 Khine Zar Wynn Myint**  
Chemical isolation and biological activities of medical plants from Myanmar
- 3 **専門コース 薬学教育部 博士課程3年 弘津 辰徳**  
シクロデキストリンの超分子特性を活用した活性保持型PEG化技術の構築



## 熊本地震で被災した外国人の体験を集めインターネットで発信中！

【4年コース 薬学教育部 博士課程2年 Khine Zar Wynn Myint】

本プログラム担当者である上野眞也教授(熊本大学政策創造研究教育センター)の主導で、熊本地震後の昨年5月に活動を開始した「KEEP(キープ; Kumamoto Earthquake Experience Project)」。

KhineさんはKEEPの副代表を務めています。



Khine Zar Wynn Myintさん 右から2番目



KEEPホームページ <https://kumadaiquake.wordpress.com/>

※Blogページには、HIGOプログラムの4名の留学生の体験も掲載されています。



## 口頭発表

## 【司会進行】

- 4年コース 薬学教育部 博士課程4年 告 恭史郎
- 基礎コース 薬学教育部 博士前期課程1年 Piruzyan Mariam

専門コース 薬学教育部 博士後期課程1年 前田 有紀

日本学術振興会特別研究員 (DC1)

### HIGOプログラムで学んだことと今後の目標

HIGOプログラムの独創的教育研究活動経費、研究成果発表支援などにより、学会発表や国際学術誌への論文掲載が実現し、学振特別研究員DC1にも採用された。さらに、研究等旅費支援を受け、他大学で新たな技術を習得し、研究の幅が広がった。製薬企業などのいかなる分野でも活躍できる博士人材を目指したい！

4年コース 医学教育部 博士課程2年 吉本 英高

### 自分の将来像 ～海外企業で研究コンサルタントを経験して

HIGOプログラムの研究等旅費支援を受け、フランス・パスツール研究所へ。

自身で開発した「精子の冷蔵保存法」を、世界中の研究者に発信できた。

研究者としての専門性と、アマチュア漫画家としての経験を活かして、

誰にとっても分かりやすいプレゼンを目指したい！

専門コース 医学教育部 博士課程3年 穴井 茜

### ふたつの島でのグローバルなインターンシップ ～上天草市役所・JICA フィジー事務所

JICA フィジー事務所では広報業務、上天草市健康づくり推進課では保健行政の実務を体験。将来は、国際機関や地域の行政機関などと大学が互いに連携しながら、公衆衛生の問題の原因を解明し、実現可能な解決策を提言できるよう、何かしらの貢献をしたい！

専門コース 薬学教育部 博士後期課程3年 岩崎 亮

### EY アドバイザリーでのインターンシップ ～行政を裏で支えるコンサルティング業

官公庁による少子化対策の推進などの事業について、EY アドバイザリー株式会社のコンサルティング業務を体験。問題解決に向けた調査・分析・企画立案・実行などのステップは、研究テーマ立案から新薬創出までの過程にも似ていることから、今回得られた経験や考え方を、就職先の製薬企業でも活かしたい！



## 東北大学で開催された平成28年度シンポジウムで発表を行いました。

2017.2.23 - 2.24 【専門コース 医学教育部 博士課程3年 穴井 茜】  
 【基礎コース 医学教育部 修士課程2年 前泊 里佳】  
 【4年コース 医学教育部 博士課程2年 永松 翔】

博士課程教育リーディングプログラムの仲間である東北大学「グローバル安全学トップリーダー育成プログラム」が主催したシンポジウムにて、ネパールインターンシップに関する発表を行いました。他にも、東北大学の災害国際科学研究所などの見学、高知県立大学のリーディングプログラムの学生も交えて、熊本地震からの復興に関する議論などを行いました。

※2016年10月8日に熊本大学×東北大学 熊本地震に関連した市民公開講座を開催しました。報告書は、以下のサイトからダウンロードいただけます。是非、ご覧ください。

<http://higoprogram.jp/public2016/>



# HIGOプログラム生紹介

## 研究テーマ

小細胞肺癌における KISS1 Receptor の発現、機能についての研究：  
組織診断、分子イメージング、  
分子標的治療をめざした基礎研究

Significance of KISS1 Receptor in small cell lung cancer:  
Basic research to develop tissue and in vivo molecular imaging  
for KISS1R, and molecular targeting therapy.

小細胞肺癌は、がん部位  
別死亡数第一位の肺がんの中  
でも悪性度が高いです。

KISS1 受容体のリガンドは癌転移抑制能  
で知られていますが、これらの小細胞  
肺癌に対する役割は不明です。KISS1  
受容体の意義を解明し、リガンドとの  
結合を用いた診断・治療法の  
開発を行っています。

## Vision

出身地の沖縄で手術・入院を経験。地域  
ごとの医療の質・サービスなどの格差を  
見てきたため、どのような場所でも、より  
高度に診断できる診断装置・技術を開発  
することが夢。人々が心身共に健康で、  
より平等で豊かに安心して暮らせる社会  
を実現したい！



## Action

セミナー、インターンシップなどで、異分野の  
方々や留学生と積極的に交流し、多様な価値観  
に触れるよう心がけています。生命倫理、政治学、  
組織マネジメントを学び、より良い社会の実現に  
向け、知見を広め、分野を融合することの重要性  
を知りました。医学研究活動でも、多くの視点  
からデータを考察できるようになってきました。



前泊 里佳 Rika Maedomari

基礎コース 医学教育部 機能病理学分野 博士課程1年

超高齢化社会では医療費  
などの増大が問題となっており、  
これを食い止めるためには、健康に  
日常生活を送れる「健康寿命」を  
延ばすことが重要です。そこで私は、  
特定の脂肪酸や血中タンパクに着目し、  
病気の早期発見や予防につながる  
方法を開発中です。



## 研究テーマ

健康寿命の延命を指向した  
先制医療のバイオマーカーと介入療法の開発

Development of biomarkers and intervention in  
Preemptive medicine oriented at longer healthy life year

## Vision

社会問題を発見解決できる探求型  
の研究者を目指しています。病気の  
早期発見や食事による病気の予防  
など、元気なうちから健康管理を  
続けることで、健康寿命の延伸も  
可能になるはず。私が確立し  
た方法で、より多くの人を幸せに  
したい！



## Action

HIGOプログラムでは、様々な社会問題の解決に  
取り組んでいる方のお話を聞くことができます。  
過疎地の医療従事者の高齢化・減少、東日本  
大震災からの復興の現状と課題ほか、今まで知  
らなかった問題や考え方を学ぶことで、視野が  
広くなり、自分の専門領域に応用して新しい選択  
肢を思いつくこともあります。通常の大学院生  
では得られない多くの刺激を受けています。



今福 匡司 Tadashi Imafuku

4年コース 薬学教育部 薬剤学分野 博士課程2年



# HIGOプログラムの博士号取得者 (2017年3月)

## 弘津 辰徳

専門コース 薬学教育部 製剤設計学分野

【学位論文テーマ】 **学業成績優秀者賞受賞!**

活性保持型 PEG 化技術およびシクロデキストリン  
超分子形成を利用したタンパク質の製剤特性の改善

【修了後の進路】

株式会社サイティン 代表取締役



HIGO  
プログラム

これが良かった!

博士前期課程: 上海インターンシップ

初の海外インターンシップ。新鮮で刺激的。

天草インターンシップ 地域医療の現実を目の  
当たりにし、熊本活性化を考えた。

博士後期課程: 社会文化科学 授業、論文作成

社会文化科学の異文化コミュニケーションの  
アリゾナ研修 知識が増えた。いかに専門科目  
しか学習してこなかったかを実感。

社会文化科学レポート作成

文系の手法で論文を作成するという、理系では  
得られない経験ができた。

子宮頸がん検診啓発活動

ここが成長!

海外に対する抵抗が減った。将来のキャリア設計にあたり、  
様々な選択肢があるようになるようになった。

「ローカル」とは? 医療・ビジネスほか、いずれの分野におい  
ても、活性化できそうなところ、活性化すべきところがある。

「グローバル」とは? 東南アジアなどの発展途上国は今後急  
成長していくと考えられる。学生の意識やコミュニケーション  
力も高いため、今後のライバルとなる可能性が高い。

グローバル化は、まさに避けては通れない道!

HIGOで  
学んだ

メッセージ とにかく色々経験することが重要!

その経験から、真の自分に会い、本当にやりたいことを見つ  
けてほしいです。

## 大山 歩務

専門コース 薬学教育部 製剤設計学分野

【学位論文テーマ】

がん細胞特異的な全身投与型 siRNA キャリアとしてのPEG化  
葉酸修飾デンドリマー/ $\alpha$ -シクロデキストリン結合体の構築

【修了後の進路】

第一三共株式会社 製薬技術本部 製剤技術研究所 研究職



HIGO  
プログラム

これが良かった!

博士前期課程: 上海インターンシップ、天草インターンシップ

博士後期課程: 社会文化科学 授業、論文作成

企画提案型インターンシップ

EY アドバイザリー株式会社

子宮頸がん検診啓発活動

身についた能力

俯瞰力、コミュニケーション能力

「グローバル(グローバル+ローカル)」とは?

地域に根差しながらも、世界を変える、動かすという行動・理念。

HIGOで  
学んだ

メッセージ 自身で制限しなければ可能性は無限にあると  
思います。是非、HIGO プログラムにおける活動を通してグロー  
バルに活躍してください。

## 岩崎 亮

専門コース 薬学教育部 薬学生化学分野

【学位論文テーマ】

ゼブラフィッシュ  $Ca^{2+}$  動員型プロスタノイド  
受容体の同定と初期発生における機能の解明

【修了後の進路】

日本たばこ産業 医薬総合研究所 研究職



HIGO  
プログラム

これが良かった!

博士前期課程: 研究室ローテーション

様々なラボの雰囲気を感じた。

博士後期課程: 企画提案型インターンシップ

コンサルティング企業にて、異業種でも薬学  
大学院生の活躍の場があることを知った。

身についた能力

物事を客観的に伝える(プレゼン)能力

異分野・異業種の人々に研究内容などを伝える際、相手の  
立場を考え、興味を引くプレゼンができるようになった。

「ローカル」とは? ローカルコミュニティでの産学官連携の  
重要性。行政は、地域医療の活性化を目指し、住民に対し  
て様々な呼びかけを行っているが、その効果は非常に薄い。  
天草インターンシップで、行政職員(官)、医療機関職員(産、  
学)と議論し「効果を高めるには、産官学間で協力して地域  
住民に対して在宅医療の重要性を語る必要がある」という結論  
を得た。産官学の方が、天草という小さなローカルコミュ  
ニティの中で、横の繋がりを求めていることを知った。

「グローバル」とは?

外国人だからといってコミュニケーションを恐れることはない!

海外のリーダーや留学生など、多様な国籍の人々との交流を  
通じて、彼らの笑いのツボや怒るポイント、喜び方などが、  
私たち日本人とあまり変わらないことを知った。

HIGOで  
学んだ

メッセージ Positive Thinking と将来への計画を

大事に! 博士課程への進学や HIGO プログラムへの入学に  
不安を感じる人がいるかもしれませんが。それでも、自分の  
進む道に迷いを感じるより、今自分の置かれている立場を  
最大限に生かすにはどうすればいいかを考えて行動してみても  
どうでしょうか。そして、将来への計画を立ててそれを達成  
するための目標ができれば、現在の不安の解消にも繋がると  
思います。自分の人生の選択に後悔せず(反省はしてもいい  
ですが)、前を見て頑張ってください。

## Information

院生大募集中!



【入試関連のお知らせ】

■平成29年度大学院入学者対象

HIGOプログラム選抜試験 4月15日(土)

※上記入試説明会 医学教育部4/4(火)、薬学教育部4/7(金)

出願期間 4月5日(水)~4月12日(水)

■大学院入試説明会(平成30年度出願者対象)

4月22日(土) 発生医学研究所

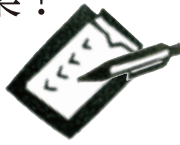
5月13日(土) 医学教育部

5月27日(土) 薬学教育部

※詳細はHIGOプログラムホームページをご覧ください  
<http://higoprogram.jp>



# 学生募集！



## HIGOプログラムへの入学を希望する方へ

以下の医学教育部または薬学教育部のいずれかの研究分野（研究室）から、入学後に希望する研究分野を選定し、分野の代表者（教授等）に事前にコンタクトを取り相談してください。

[http://higoprogram.jp/admission\\_top](http://higoprogram.jp/admission_top)



2017.4.1現在

### 熊本大学大学院医学教育部

#### ●基礎医学系

|         |       |
|---------|-------|
| 形態構築学   | 福田 孝一 |
| 生体微細構築学 | 若山 友彦 |
| 脳回路構造学  | 玉巻 伸章 |
| 神経化学    | 太田 訓正 |
| 知覚生理学   | 宋 文杰  |
| 分子生理学   | 富澤 一仁 |
| 分子酵素化学  | 山縣 和也 |
| 病態生化学   | 山縣 和也 |
| 分子遺伝学   | 尾池 雄一 |
| 腫瘍医学    | 富澤 一仁 |
| 機能病理学   | 伊藤 隆明 |
| 細胞病理学   | 竹屋 元裕 |
| 分子病理学   | 伊藤 隆明 |
| 細胞情報薬理学 | 中西 宏之 |
| 生体機能薬理学 | 光山 勝慶 |
| 微生物学    | 澤 智裕  |
| 免疫学     | 押海 裕之 |
| 免疫識別学   | 千住 寛  |
| 分子脳科学   | 岩本 和也 |
| がん生物学   | 山口 知也 |

#### ●社会医学系

|       |       |
|-------|-------|
| 公衆衛生学 | 加藤 貴彦 |
| 法医学   | 西谷 陽子 |
| 生命倫理学 | 門岡 康弘 |
| 臨床倫理学 | 門岡 康弘 |

#### ●内科系

|               |        |
|---------------|--------|
| 呼吸器内科学        | 藤井 一彦  |
| 循環器内科学        | 辻田 賢一  |
| 代謝内科学         | 荒木 栄一  |
| 腎臓内科学         | 向山 政志  |
| 消化器内科学        | 佐々木 裕  |
| 血液・膠原病・感染症内科学 | 松岡 雅雄  |
| 神経内科学         | 安東 由喜雄 |
| 小児科学          | 中村 公俊  |
| 臨床病態解析学       | 松井 啓隆  |
| 放射線診断学        | 山下 康行  |
| 放射線治療医学       | 大屋 夏生  |
| 神経精神医学        | 橋本 衛   |
| 救急・総合診療医学     | 笠岡 俊志  |
| 保健医学          | 藤瀬 昇   |
| 医療情報医学        | 宇宿 功市郎 |

#### ●外科系

|           |       |
|-----------|-------|
| 消化器外科学    | 馬場 秀夫 |
| 呼吸器外科学    | 鈴木 実  |
| 心臓血管外科学   | 福井 寿啓 |
| 乳腺・内分泌外科学 | 岩瀬 弘敬 |

|                |       |
|----------------|-------|
| 小児外科学・移植外科学    | 菅原 寧彦 |
| 脳神経外科学         | 矢野 茂敏 |
| 整形外科           | 水田 博志 |
| 産科婦人科学（産科、婦人科） | 片淵 秀隆 |
| 泌尿器科学          | 神波 大己 |
| 眼科学            | 谷原 秀信 |
| 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学   | 養田 涼生 |
| 歯科口腔外科学        | 中山 秀樹 |
| 皮膚病態治療再建学      | 尹 浩信  |
| 侵襲制御医学         | 蒲原 英伸 |
| 麻酔科学           | 山本 達郎 |

#### ●発生医学研究所

|        |        |
|--------|--------|
| 分子細胞制御 | 小椋 光   |
| 腎臓発生   | 西中村 隆一 |
| 脳発生    | 嶋村 健児  |
| 幹細胞誘導  | 江良 沢実  |
| 損傷修復   | 立石 智   |
| 組織幹細胞  | 小川 峰太郎 |
| 細胞医学   | 中尾 光善  |
| 多能性幹細胞 | 丹羽 仁史  |
| 染色体制御  | 石黒 啓一郎 |
| 生殖発生   | 中村 輝★  |

#### ●生命資源研究・支援センター

|       |        |
|-------|--------|
| 資源開発  | 中瀧 直己  |
| バイオ情報 | 荒木 正健★ |
| RI実験  | 古嶋 昭博  |
| 疾患モデル | 荒木 喜美★ |
| 表現型解析 | 南 敬★   |

★の分野を希望する場合は、薬学教育部の入試を受験すること

#### ●国際先端医学研究機構（IRCMS）

|           |                     |
|-----------|---------------------|
| 国際先端医学Ⅰ分野 | 滝澤 仁                |
| 国際先端医学Ⅱ分野 | 指田 吾郎               |
| 国際先端医学Ⅲ分野 | Guojun Sheng        |
| 国際先端医学Ⅳ分野 | 馬場 理也               |
| 国際先端医学Ⅴ分野 | Christian Schönbach |

### 熊本大学大学院薬学教育部

|           |        |
|-----------|--------|
| 遺伝子機能応用学  | 甲斐 広文  |
| 創薬基盤分子設計学 | 石塚 忠男  |
| 生体機能分子合成学 | 大塚 雅巳  |
| 機能分子構造解析学 | 山縣 ゆり子 |
| 病態遺伝子解析学  | 中村 輝   |
| 分子薬化学     | 中島 誠   |

|            |        |
|------------|--------|
| 構造生命イメージング | 寺沢 宏明  |
| 天然薬物学      | 塚本 佐知子 |
| 薬用植物学      | 渡邊 高志  |
| 薬物活性学      | 香月 博志  |
| 微生物薬学      | 大槻 純男  |
| 生命分析化学     | 森岡 弘志  |
| 環境分子保健学    | 三隅 将吾  |
| 薬学生化学      | 杉本 幸彦  |
| 臓器形成学      | 荒木 喜美  |
| 製剤設計学      | 有馬 英俊  |
| 薬物治療学      | 猿渡 淳二  |
| 薬剤情報分析学    | 入江 徹美  |
| 臨床薬物動態学    | 斎藤 秀之  |
| 薬物送達学      | 今井 輝子  |
| 臨床薬理学      | 平田 純生  |
| 薬剤学        | 丸山 徹   |
| 病態遺伝学      | 南 敬    |
| バイオ情報学     | 荒木 正健  |

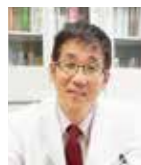
### ▶学内他部局プログラム担当者

|                             |                     |
|-----------------------------|---------------------|
| 熊本大学熊本創生推進機構政策創造研究教育センター 教授 | 上野 真也               |
| 熊本大学大学院社会文化科学研究科 准教授        | 石原 明子               |
| 熊本大学 名誉教授、客員教授              | 高橋 隆雄               |
| 熊本大学 顧問、名誉教授                | 小野 友道               |
| 大学院先端機構 特任准教授               | 久恒 昭哲               |
| 特任助教                        | 梅田 香穂子              |
| 特任助教                        | 大浦 華代子              |
| 特任助教                        | 田辺 寿一郎              |
| 特任助教                        | 盧 溪                 |
| 特任助教                        | Hari Prasad Devkota |

### ▶学外プログラム担当者

|                        |        |
|------------------------|--------|
| 東京工業大学 教授              | 桑 昭苑   |
| 静岡文化芸術大学 准教授           | 河村 洋子  |
| 熊本県知事                  | 蒲島 郁夫  |
| 熊本市市長                  | 大西 一史  |
| 熊本市前市長                 | 幸山 政史  |
| 熊本商工会議所 会頭（ホテル日航熊本 会長） | 田川 憲生  |
| 熊本経済同友会 代表幹事（肥後銀行 頭取）  | 甲斐 隆博  |
| 熊本日日新聞社 編集委員、熊本大学 客員教授 | 井芹 道一  |
| 株式会社同仁化学研究所 技術顧問       | 佐々木 一美 |

※HIGOプログラム担当者



安東 由喜雄  
プログラム責任者  
熊本大学大学院医学教育部 部長



小椋 光  
プログラムコーディネーター  
熊本大学発生医学研究所 教授

## HIGOprogram Newsletter vol.9

発行：熊本大学 博士課程教育リーディングプログラム  
国立大学法人熊本大学 教育研究支援部リーディングプログラム推進チーム  
〒860-8556 熊本市中央区本荘1-1-1 Phone: 096-373-6832 Fax: 096-373-5031  
mail: [higo-program@jimu.kumamoto-u.ac.jp](mailto:higo-program@jimu.kumamoto-u.ac.jp)  
http://higoprogram.jp

<https://www.facebook.com/higoprogram.jp>

デザイン：中川哲子デザイン室